

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和4年5月31日

学校名 清水中学校

校長氏名 牧田 菊子

1 今年度の目標（学校の約束）

- ①生徒会でSDGsの啓発に取り組みます。
- ②水や電気などの資源を大切に使います。
- ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

①環境教育・環境学習

- ・生徒会でSDGsやリサイクルについての啓発に取り組みます。
また、その内容を発表や掲示物などで紹介します。
- ・花壇やプランターの管理など、校内の緑化に努めます。
- ・環境保全活動として、地域の清掃活動、資源回収に参加します。

②省エネルギー・省資源

- ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。

③ごみ減量・リサイクル

- ・学校内の古紙回収に努めます。
- ・ゴミの分別を徹底します。
- ・ペットボトルキャップやアルミ缶のリサイクルに取り組みます。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。）

- ①では、リサイクルのシステムを学ぶことによって、不要になったものを有効に使う方法を知り、環境問題に対する意識を高める。また地域の幅広い年代の人と接し、互いに協力する力を身につける。（相互性、連携性）

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">清水中学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <p>①生徒会でSDGsの啓発に取り組みます。 ②水や電気などの資源を大切に使います。 ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>①環境教育・環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会と環境委員会で合同企画した「清水地区クリーンアップ作戦」を行いました。資源回収後に、自分の家から落ちているごみを集めながら、ごみ回収場所までごみ拾いをしました。当日は多くの生徒が参加し、ごみ回収ではたくさんのごみが集まりました。 ・環境委員会でSDGsクイズをしました。各学級で環境委員会が作成したSDGsに関するクイズを解き、放送で答え合わせをしました。 ・花壇やプランターの管理をして、校内の緑化に努めました。季節ごとにプランターに花の苗植えをし、水やりの当番を決めて花を育てました。 ・地域の活性化のための「清水活性化プロジェクト」として、公民館や地域の方と協力してフラワーロード作りをして、緑化運動や環境美化に取り組みました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="247 1308 604 1545">  <p>清水地区クリーンアップ作戦</p> </div> <div data-bbox="699 1214 948 1545">  <p>プランターの水やり当番</p> </div> <div data-bbox="1042 1303 1406 1545">  <p>フラワーロード作り</p> </div> </div> <p>②省エネルギー・省資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い場や廊下に節水・節電のポスターを掲示し呼びかけました。 ・環境委員が、使用していない教室や廊下、トイレなどの電気が消えているかを確認しました。 <p>③ごみ減量・リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水特別支援学校でリサイクル活動の一つとして取り組んでいるペットボトル集めに全校で協力し、集めたものを渡しました。また、特別支援学校からはペットボトルキャップをもらいました。そして、校内でも積極的にキャップの回収を呼びかけ、全校生徒にキャップをもってきてもらうためのアイデアを出し合い、たくさんキャップ 	

プを集めることができました。環境委員会の委員長が福井テレビに持って行き、世界の子どもたちへのワクチンにかえる活動を行いました。

- ・各学級にリサイクルボックスを設置して不要な古紙の回収に努め、環境委員がまとめてリサイクルに出しました。
- ・給食のパンが入っているプラスチック袋を週1回集め、小さく丸めてごみの体積を減らす活動をしました。



キャップ回収



特別支援学校との交流



プラごみ集め



古紙回収

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①や③では、リサイクルのシステムやSDGsを学ぶことによって、不用になったものを有効に使う方法を知り、環境問題に対する意識を高める。また感染症予防にも気を付けながら、地域の人と共に環境保全に努める。（相互性、連携性）

3
見直し

【具体的効果】

- ①SDGsとはどういうもので自分たちとどう関係しているかといったことを自分たちで調べてクイズを作ることで、より興味を持ち自分たちの身近な課題であるにとらえられるようになりました。また今年は新しい企画として、生徒会が主催し、全校生徒からボランティアを募り、地域の清掃活動に取り組みました。
- ②節電を意識することで、特別教室等で授業を受けるため教室を空ける際に、電気を消し忘れる学級が減ってきています。
- ③清水特別支援学校との資源交換や環境委員会による呼びかけにより、廃棄物を資源として再利用をすることへの理解が生徒に深まっています。そのため、積極的に集めて持ってくる事ができています。古紙回収ボックスも定着し、生徒の資源を大切にしようとする姿勢も高まりました。

【改善点】

- ・SDGsという言葉が世間や生徒の間にも浸透してきているので、校内でさらに深い内容の活動ができるようアイデアを出していきたい。
- ・保護者や地域の方に学校での取り組みを広めて環境に対する意識を高めていきたい。
- ・毎年行っている「地区クリーン作戦」が今年はコロナ感染予防でできませんでした。そこで生徒会と環境委員会が主体となり、ボランティアの生徒と一緒に地域の清掃に取り組みました。多くの生徒が参加し、地域貢献ができた。コロナが収束した際にはまた地域と協力して清掃活動や草取りを行いたい。